

# 令和8年度静岡県環境衛生科学研究所 業務研究発表

業務・研究の成果をYouTubeで配信します！



動画はこちらから  
チェック！



<https://kaneiken.jp/r8>

## ◆研究発表

|       |                                            |
|-------|--------------------------------------------|
| 環境科学部 | 海洋生分解試験法(ISO19679)の<br>ばらつきを低減するための評価手法の開発 |
| 微生物部  | 静岡県のマダニ分布とSFTSウイルスの実態調査                    |
| 医薬食品部 | 有毒植物による食中毒にどう対応する？<br>～迅速な原因究明に向けた取組～      |
| 大気水質部 | 監視しています！静岡県の大気・騒音<br>～令和7年度の業務より～          |

## ◆バーチャル研究所

研究所の業務の様子を動画でご紹介します



# 令和8年度 静岡県環境衛生科学研究所 業務研究発表 発表要旨 研 究 発 表

|   |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <p><b>海洋生分解試験法(ISO19679)のばらつきを低減するための評価手法の開発【環境科学部】 綿野哲寛</b></p> <p>生分解性プラスチックの潮間帯域における海洋生分解を評価するための国際規格としてISO19679がありますが、生分解度のばらつきが大きいことが問題となっています。ばらつきは、試験に使用する海砂・海水の産地・採取時期だけでなく、同一条件下での反復試験でも生じます。そこで、我々は、細粒分を取り除いた海砂と海砂調整で得られた砂泥洗浄海水を用いることで再現性の高い生分解度評価試験結果を得ることが出来ました。</p> |
| 2 | <p><b>静岡県のマダニ分布とSFTSウイルス浸淫状況の実態調査【微生物部】 池ヶ谷朝香</b></p> <p>昨年度、マダニ媒介感染症であるSFTSの感染者数は過去最多となり、西日本中心だった患者の発生も全国に拡大しつつありSFTS感染リスクも増加しています。本県でのマダニの分布状況は約15年前と変化が認められ、動物のSFTSウイルス保有状況の調査では、イノシシ1検体とネコ2検体からSFTSが検出され、本県においてもSFTSは感染に注意すべき感染症であることが確認されました。</p>                           |
| 3 | <p><b>有毒植物による食中毒にどう対応する？ ～迅速な原因究明に向けた取組～【医薬食品部】 柏木久輝</b></p> <p>有毒植物を食用植物と誤認して喫食することによる食中毒は全国で発生しており、注意が必要です。医薬食品部では、有毒植物による食中毒に備え、植物性自然毒の検査体制を整えています。今回、複数の児童が自生していた植物を食べて体調不良を訴えた事例がありました。確立していた分析法を用いて検査を実施し、自然毒を迅速に検出できたため、その概要を紹介します。</p>                                   |
| 4 | <p><b>監視しています！ 静岡県の大気・騒音 ～令和7年度の業務より～【大気水質部】 ふじっぴー</b></p> <p>大気騒音環境班では、静岡県民の健康を守るために、県内各地の大気・騒音監視業務を行っています。大気汚染防止法に基づいた光化学オキシダントやPM2.5などの大気環境常時監視、ベンゼンなど有害大気汚染物質監視調査、大気中アスベストの飛散状況、自動車、新幹線及び航空機の騒音実態調査など、発表ではこれらの概要と光化学オキシダントの新しい環境基準について解説します。</p>                             |

## バーチャル研究所

各部の業務の様子を動画で紹介しています。今年の新着動画はコチラ！

### 環境科学部



### 微生物部



### 医薬食品部



### 大気水質部



過去の動画は  
こちらをご覧ください



<https://kaneiken.jp/r7>